

令和5年度 沖縄県の取組の経過と今後の予定

沖縄県特別支援教育研究会
会長 岡越 猛

1 研修・研究活動の計画

期日	活動名
6/22(木)	第1回評議員会・研修会①(参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
7/28(金)	令和5年度総会・記念講演(研修会②)(参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
10/13(金)	第2回評議員会・研修会③(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
11/10(金)	研究大会分科会関係者会・研修会④(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)
12/15(金)	第51回沖特研研究大会(参集型+一部オンデマンド配信)
2/22(木)	第3回評議員会・研修会⑤(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

2 活動の概要

(1) 第1回 評議員会・研修会①(参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	八幡 昌士(沖縄市教育委員会 指導主事)	参加人数	47名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	沖縄市の就学支援における課題と取組		
概要	・役員の承認 ・昨年度の事業・会計報告 ・沖特研運営について ・今年度の事業計画 ・今年度の予算・会計 ・今年度の研究大会 ・事務局輪番 ・九特連・全特連について ・研究大会に向けたスケジュール ・全特連功労者の推薦について		

(2) 令和5年度総会・記念講演(研修会②)(参集型+Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	加藤 宏昭 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官)	参加人数	224名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	これからの特別支援教育の動向		
概要	・役員の承認 ・昨年度の事業・会計報告 ・今年度の事業計画および予算・会計案 ・沖特研研究大会について ・九特連・全特連について ・研究大会に向けたスケジュール ・全特連功労者の推薦について		

(3) 第2回評議員会・研修会③(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	綿貫 愛子(NPO 法人東京都自閉症協会)	参加人数	43名
実施形式	1 集合研修 ② リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	学校現場で活躍するASD当事者から校長先生方へのメッセージ①		
概要	・第51回沖特研研究大会について ・次年度以降の研究会運営 ・会計進捗について ・今後の日程確認		

(4) 研究大会分科会関係者会・研修会④(Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	綿貫 愛子(NPO 法人東京都自閉症協会)	参加人数	66名
実施形式	1 集合研修 ② リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	学校現場で活躍するASD当事者から校長先生方へのメッセージ②		
概要	・はじめに ・各係の仕事内容 ・研究大会当日 直前打ち合わせ ・分科会マニュアル ・情報の取り扱いについて ・分科会記録用紙 ・分科会ごとの打ち合わせ(ブレイクアウトルーム) ・質疑応答・全体確認 ・事務連絡		

(5) 第51回沖特研研究大会(参集型+一部オンデマンド配信)

講師	三浦 光哉(山形大学教職大学院 教授)	参加人数	281名
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	特別支援における育成すべき資質・能力を育む教育 ～知的障害児の各教科等を中心とした教育のすすめ～ おまけ 8段階による自閉症児の障害特性の見極め		
概要	・公開授業 ・学校見学 ・開会行事及び記念講演 ・第1分科会「各教科等の指導(小学校段階)」 ・第2分科会「各教科等の指導(中学校・高等学校段階)」 ・第3分科会「各教科等を合わせた指導」 ・第4分科会「キャリア教育・進路指導」 ・第5分科会「自立活動」 ・第6分科会「交流及び共同学習」 ・第7分科会「ICT 教育」		

(6) 第3回評議員会・研修会⑤ (Zoom オンライン開催+オンデマンド配信)

講師	綿貫 愛子(NPO 法人東京都自閉症協会)	参加人数	これから開催予定 (参加予定83名)
実施形式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	学校現場で活躍する ASD 当事者から校長先生方へのメッセージ③		
概要	・研究大会の報告 ・今年度の事業・会計の進捗報告 ・次年度の事業・予算案 ・次年度の研究大会について ・研究集録について ・役員の氏名報告		

3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

○各事業の実施について

- ・令和3・4年度においては新型コロナウイルス感染症予防の観点から全事業において完全オンラインでの開催となったが、今年度は新型コロナウイルス症5類移行を踏まえ、評議員会等はオンラインと参集型のハイブリッド式で開催、研究大会は4年ぶりとなる参集型での開催をすることができた。
- ・研究大会では、事務局校の授業参観・学校見学の実施、記念講演や各分科会を通して参加者がお互いの顔を見合わせて協議することができる機会となった。

○研究会の運営について

- ・組織の再編:那覇地区小学校・浦添地区小学校・那覇浦添地区中学校特別支援教育研究会の3支部に分かれていた組織を合併し、令和6年度より「那覇・浦添支部」として再編することを決議(第2回評議員会にて可決)。
- ・運営の見直し:研修会の在り方や予算の見直し等。

(2) 今後の課題

- ・コロナ以前、コロナ禍で取り組んできた本研究会運営を踏まえて、持続可能な研究会運営にするため、研究会の体制整備(組織構築)、運営費(予算案等)等の見直しは引き続き喫緊の課題と言える。
- ・各支部の事情等により、評議員等の選出や研究大会に係る提案者や係等の選出が難しく、研究大会運営に関して様々な問題点が出てくる。
- ・研究会運営に当たって、各学校間における相互理解の啓発、行政や関係諸機関と連携して特別支援教育の発展に寄与していきたい。
- ・今年度、参集型での大会を実施してみて、参加者にとっては授業参観の実施や記念講演、各分科会への参加を通して協議できる機会となった。一方で研修会参加に係る旅費等の観点からオンライン開催やハイブリッド開催を望む声もある。運営に係る事務局校の負担等の兼ね合いも見ながら今後も実施方法については検討が必要である。